



滋賀県農業職業業務案内

農業者・市町・農業団体等から頼りにされる
“日本一の農業技術者集団”をめざして
一緒に頑張りましょう!!



1. 滋賀県の農業

- ◆農地の9割以上を水田が占める滋賀県は、古くから近畿を代表する米の産地です。滋賀県産の米は「近江米」と呼ばれ、「コシヒカリ」や「みずかがみ」といった様々な品種が栽培されています。
- ◆そのほかにも近江の茶や野菜、花、果樹、近江牛など多くの特色ある農畜産物が生産、販売されています。
- ◆日本一の湖「琵琶湖」をはじめとした豊かな自然環境と調和した農業が広く行われています。



環境こだわり農産物認証制度

日本一の
取組！

滋賀県では、農薬や化学肥料の使用を半分以下に抑え、びわ湖や周辺環境にやさしい技術で栽培する「環境こだわり農業」が行われており、そこで生産された農産物を県が「環境こだわり農産物」として認証しています。

全国に先駆けて始まった本取組は県内全域に広がり、耕地面積に占める取組面積の割合は、制度創設以来常に日本一です。



滋賀の農業について
詳しくはコチラ→

[しがの農林水産業](#)



2. 農業職の仕事

農業職の仕事には大きく分けて3つの部門があります。採用後はいずれかの部門の所属に配属されますが、おおむね3～5年ほどで異動し、異なる部門も経験することになります。

普及指導

直接農業者に接し、様々な手法を駆使して現場の課題解決や、地域農業の発展に向けた支援を行います。県内6か所にある農業農村振興事務所に配属され、各担当地域の現場で活動します。

→詳しくは3ページへ



試験研究

びわ湖をはじめとする自然環境との調和を図りつつ、農業現場の課題を解決する栽培技術や新品種の研究開発を行います。主に農業技術振興センターに配属され、専門分野に分かれて活動します。

→詳しくは4ページへ



農業行政

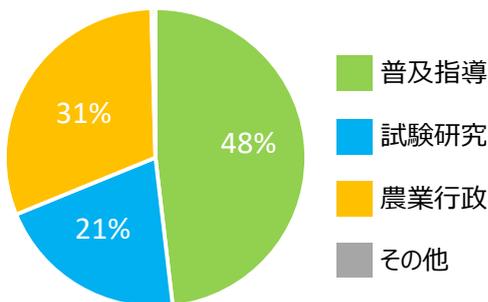
地域の特徴を生かした魅力ある農業の実現に向け、農畜産物の生産振興や消費拡大、環境こだわり農業の推進などに関する施策を立案・執行します。主に県庁のみらいの農業振興課等に配属されます。

→詳しくは5ページへ

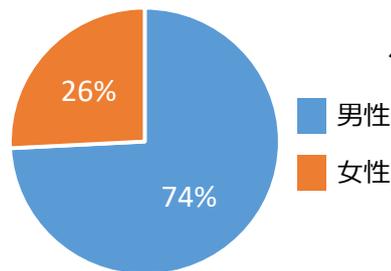


農業職職員の属性

滋賀県には約220名の農業職職員がいます。県外出身の方、民間企業から転職された方、農業未経験の方なども含め、多様な人材で構成され、それぞれが日々専門技術を磨きつつ、個性や得意分野を活かして活躍しています。



配属先の割合（R7年度）

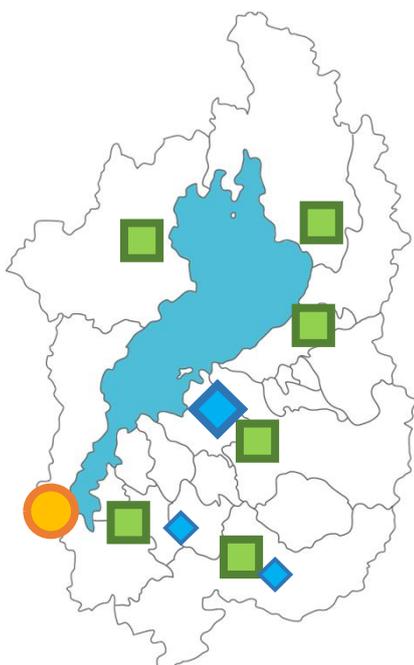


男女比（R7年度）

近年では女性の割合が増加しており、20代の約4割は女性です。



主な勤務地



農業農村振興事務所

県内に6か所あり、それぞれが大津・南部、甲賀、東近江、湖東、湖北、高島の各地域を担当します。多くが鉄道沿線に立地しており、公共交通機関で通勤可能です。



農業技術振興センター

県の試験研究機関の一つです。近江八幡市にある本場のほか、栗東市、甲賀市にも研究拠点があります。



県庁

J R 大津駅から徒歩約5分に位置し、県内はもちろん、京都から約10分、大阪から約40分と県外からのアクセスも良好です。



3. 仕事紹介

普及指導

現場で農家に寄り添う課題解決のエキスパート

直接農家に接し、様々な手法を駆使して現場の課題解決や、地域農業の発展に向けた支援を行います。ほぼ毎日現場で活動し、1日中事務所にいなくてもよくあります。全農業職の半数が所属する部門であり、約100名の職員が各地域で活躍しています。

□ 1日のスケジュール例



担当する農家を訪問します。

地域の主要な農家や、技術的支援を必要とされる方、新技術の実証に協力いただく方等を中心に日々巡回します。特に収量・品質を左右する重要な作業のタイミングや、病害虫が発生しやすい時期等は重点的に訪問し、対策などの指導・支援を行います。

新規就農者への支援を行います。

早期の技術習得・経営の安定化を図るため、新規就農者の方は重点的に支援します。技術面はもちろん、時には合同の研修会や勉強会を企画して、仲間づくりや先輩農家との関係構築の支援も行います。

J A・市町担当者と密接に連携しています。

産地づくりや地域全体の課題解決など大きなプロジェクトを進めるためには、関係機関との連携が欠かせません。日頃から情報を共有し、各組織の強みや視点を活かして役割分担をしつつ、共通の目標に向かって取り組みます。



□ 先輩職員の声



湖東農業農村振興事務所

かご ひろし
籠 洋 主任技師

出身地：愛媛県
出身校：滋賀県立大学（専攻：昆虫学）

主な担当業務
花きの生産振興、農業経営に関すること

これまでの勤務



【なぜ滋賀県職員に？】

滋賀県の琵琶湖や田園風景が好きなこと、大学での経験を活かしたいことから、就職しました。

【印象に残っている業務は？】

試験研究が開発した新技術による花き栽培を推進しました。失敗もありましたが、その都度、農家と対策を話し合い、先輩職員や関係機関に助けられ、収穫できた時はすごく嬉しく、農家と喜びを分かち合いました。



Message

農業職は分野が多岐にわたることから得意分野を活かした働き方が見つかるはず。専門知識や技術は後から付いてきます。一緒に滋賀県農業を盛り上げましょう。



湖北農業農村振興事務所

ながせ あかり
長瀬 朱理 技師

出身地：岐阜県
出身校：龍谷大学（専攻：化学生態学）

主な担当業務
麦・大豆の採種、外来雑草対応

これまでの勤務



【なぜ滋賀県職員に？】

大学の講義において、滋賀県農業職員の方のお話を伺う機会があったことで滋賀県農業に興味を持ち、大学卒業後入庁しました。

【印象に残っている業務は？】

水稻の育苗支援です。苗の生育不良の原因や対策について農家と話し合いを重ね、様々な方法を提案し実践いただきました。農家の実情に合わせた提案は難しいですが、やりがいを感じました。

Message

県外出身、非農家出身でも大丈夫です。滋賀県農業に貢献したいという思いがある方、一緒に頑張りましょう！

試験研究

新たな品種や技術の開発を担うスペシャリスト

びわ湖をはじめとする自然環境との調和を図りつつ、農業現場の課題を解決する栽培技術や新品種の研究開発を行います。研究という室内のイメージがありますが、実は屋外での活動が多くあります。約50名が農業技術振興センターに配属され、各専門分野で活躍しています。

1日のスケジュール例



調査・実験の進捗状況や問題点を係内で共有します。

進捗状況や問題点を毎週の係会議で共有します。学生時代の専攻と違った分野の研究に携わっていても、先輩職員からの丁寧な指導の下、知識を養うことができます。積極的に意見交換することで、より良い研究成果へとつながると共に、研究のゴールの確認にもなります。

成果は論文等で発表するよう心掛けています。

得られた研究成果を取りまとめ、学会発表や論文等へ発表します。研究テーマに関する論文を読み、共同研究者との情報交換はもちろんのこと、生産現場で求められる研究を検討することも大切です。



生産現場での活用を見込んで研究に取り組みます！

当センター内のほ場試験だけでなく、農業者の協力を得て、生産現場でのほ場試験も実施しています。また、ほ場での調査だけでなく、実験室での化学分析やPCR等の分子生物学的手法も組み合わせて取り組んでいます。

先輩職員の声



農業技術振興センター 栽培研究部

まつだ しんいちろう

松田 眞一郎 係長

出身地：滋賀県

出身校：京都府立大学大学院
(専攻：蔬菜園芸学)

主な担当業務

新品種イチゴの種苗生産等

これまでの勤務



農業技術振興センター 環境研究部

かわむら きえ

河村 紀衣 主任技師

出身地：滋賀県

出身校：滋賀県立大学 (専攻：畜産学)

主な担当業務

土壌肥料

これまでの勤務



農業技術振興センター 農業大学校

かど だいき

角 大樹 主任技師

出身地：滋賀県

出身校：滋賀県立大学
(専攻：植物生態学)

主な担当業務

農業の技術や経営に関する研修教育

これまでの勤務



Message

皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

Message

環境に配慮した農業の発展を目指して一緒に頑張りましょう！

Message

農業職は、農家という「人」と接する機会が多い、とてもやりがいのある仕事です！

【なぜ滋賀県職員に？】

地元の重要な産業である農業に幅広く貢献したいと考えました。

【印象に残っている業務は？】

試験研究では新しい養液栽培技術の開発に取り組み、特許申請までさせていただいたことが印象に残っています。また普及では様々な農家と話をしながら、それぞれの状況に応じた経営・技術支援を行い、それが役に立って感謝されたこと一つひとつがすべて印象に残っています。

【なぜ滋賀県職員に？】

琵琶湖を守り環境に配慮した農業を目指す姿に魅力を感じ、就職を決めました。

【印象に残っている業務は？】

冬の間は田んぼで緑肥となるマメ科植物「ヘアリーベッチ」を育て、春に水稻栽培の肥料として活用する技術を開発する試験が印象的です。化学肥料を減らした水稻栽培に農家の方が取り組んでいただけるようにマニュアルを作成しています。

【なぜ滋賀県職員に？】

県外の農業系の仕事に就いていましたが、滋賀の農業を支える仕事がしたいと思い、入庁しました。



【印象に残っている業務は？】

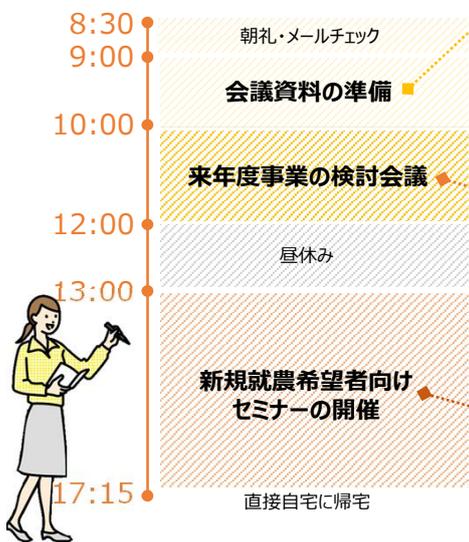
栽培技術の習得支援です。農業大学校では、農家を目指す方とともに、1年間ほぼ毎日、一緒に実習をしながら、技術習得や経営計画の策定をしてもらっています。管理手法などを相手に理解してもらい、実践してもらうのは難しいですが、技術が日々上達していく姿を見た時には良かった！と思いました。

農業行政

県全体を見渡し滋賀県農業の将来像を描く旗振り役

魅力ある滋賀県農業の実現に向けた仕組みづくりや、その運営を行います。作物、人、経営、環境、流通、PRなど農業に関する分野は様々ですが、行政に配属されるとそのどれかを専門的に担うことが特徴です。担当分野については自身の思いを反映した事業の立案、実行が可能となりますので、普及や試験研究とはまた違ったやりがいがあります。

1日のスケジュール例



資料は主にクラウドで共有しています。

近年ではペーパーレスの会議が増え、職員はPCを持って会議に参加します。会議資料は事前に身近な上司に相談し、随時修正しながら作成します。



早いものでは8月頃から次年度の事業、予算の検討を始めます。

この日は自分が担当している事業を今年度実施してどうだったか、さらに来年度どうしていきたいのか、課長、係長等と協議をしました。協議を受け、来年度事業のイメージ図や予算の積算等を作成し、さらに協議を経ることで、来年度事業が固まります。

セミナーやイベントを主催、運営しています。

午後は滋賀県内で新たに農業を始める人、農業に関心がある人を対象としたセミナーを開催しました。セミナーやイベントは、県だけでなく民間事業者のノウハウもおかりしながら、協力して開催することが多いです。開催後には参加した方から意見を伺い、来年度事業の検討に活かしています。

先輩職員の声



みらいの農業振興課 食のブランド推進室

しみず みほ
清水 美穂 主幹

出身地：京都府
出身校：名古屋大学大学院
(専攻：土壌生物学)

主な担当業務
農業行政 (6次産業化、地消地産)

これまでの勤務



【なぜ滋賀県職員に？】

農業の現場で働きたかったので普及指導員を選びました。

【印象に残っている業務は？】

約10年間、野菜分野の普及指導業務についた後、県庁へ異動。新規就農担当として農業の担い手に育てる仕事に携わりました。普及の経験を生かし、県全体を見て、関係者と一体になって行う仕事で楽しかったです。

普及指導員と県庁時代に2人の子育てを経験しました。休暇制度を活用しやすい雰囲気の中、たくさんの先輩方に暖かくサポートいただき、安心して子育てと仕事ことができました。



【なぜ滋賀県職員に？】

程よく都会、程よく田舎な滋賀県で農業に関わる仕事をしたいと思い就職しました。

【印象に残っている業務は？】

滋賀県水田収益力強化ビジョンの策定が印象的です。水田の有効利用、フル活用に向けた県の方針を定めました。需要に応じた生産を進めるために、交付金等を活用して、より需要のある作物への作付転換を誘導しました。



みらいの農業振興課 水田農業・作物振興係

おおすみ みつまさ
大角 実聖 技師

出身地：滋賀県
出身校：京都府立大学
(専攻：野菜花卉園芸学)

主な担当業務
米・麦・大豆の生産振興

これまでの勤務



Message

行政は、農業を応援するための仕組みづくり。楽しいです！

Message

不安なこともあるかもしれませんが先輩方が親切に教えて下さるので大丈夫です。一緒に滋賀県農業を支えていきましょう！

4. Q & A



農家や農業系学部出身でなくても大丈夫ですか

大丈夫です。滋賀県庁では若手職員がいち早く活躍できるよう、現場に配属されてから数年間は継続的に研修があり、専門的な技術や資格の取得をサポートします。



農業関連の民間企業との違いは何ですか

農業は、食料生産や国土保全など国の根幹をなす産業であり、研究や技術の普及、地域振興などに公的機関が深く関与しています。そのため県の農業技術職員の仕事は、農業を取り巻く幅広い分野に及ぶことが特徴です。新しい品種や栽培技術の開発から、農業者の育成、経営改善の支援、産地づくり、県産品のPR、県としての方針や目標の設定まで、非常に広く深く農業振興に関わることができます。



国や市町村の職員との違いは何ですか

国との違いは現場が近く、常に地域や農業者と密接に関わりながら仕事を行っていること、市町村との違いはより高度な専門技術や県域の広い視点が求められることです。それぞれ役割は違いますが、常に協力・連携して農業の発展や農業者の所得向上を目指しています。



他府県と違いはありますか

滋賀県を強くお勧めする主な理由は以下の3つです。

- ①琵琶湖を中心に県全体が一つの産地としてまとまっており、米や野菜などの産地づくりを県がリードして進めることができます！
- ②滋賀県では日本一の琵琶湖を守るため、環境保全型農業に全国に先駆けて取り組んできました。現在も環境保全型農業直接支払の取組面積割合が日本一であるなど、環境保全型農業界のトップランナーです。SDGs、地球環境保全が重要視される今、滋賀県の取組は注目されています！
- ③京阪神等の都市部に近いという利便性と、琵琶湖をはじめとした豊かな自然環境を両立する滋賀県は、生活圏としても最適です。



5. 農業職の所属HP、SNSアカウント等の紹介

農業職の各所属では情報発信も積極的に行っています。農業や食、イベントに関する最新情報や、現場での取組紹介など、ここでしか見られない情報が盛りだくさんです。ぜひ一度ご覧ください。



大津・南部農業農村振興事務所農産普及課



Facebook [Face toアグリ大津・南部](#)
Instagram [Face to アグリ大津・南部](#)
滋賀県HP [大津・南部農産普及課](#)



甲賀農業農村振興事務所農産普及課



Facebook [アグリウインドこうか](#)
Instagram [アグリウインドこうか](#)
滋賀県HP [甲賀農産普及課](#)



東近江農業農村振興事務所農産普及課



Facebook [ふきゅーとる東近江](#)
滋賀県HP [東近江農産普及課](#)



湖東農業農村振興事務所農産普及課



Facebook [湖東普及だより](#)
滋賀県HP [湖東農産普及課](#)



湖北農業農村振興事務所農産普及課



Facebook [らくのうる湖北（楽農る）](#)
Instagram [らくのうる湖北（楽農る）](#)
滋賀県HP [湖北農産普及課](#)



高島農業農村振興事務所農産普及課



Facebook [キラリ高島農業](#)
Instagram [キラリ高島農業](#)
滋賀県HP [高島農産普及課](#)



農業技術振興センター



Facebook [農業技術振興センター](#)
Instagram [農業技術振興センター](#)
滋賀県HP [農業技術振興センター](#)



Instagram [農業大学校](#)
滋賀県HP [農業大学校](#)



みらいの農業振興課



滋賀県HP [みらいの農業振興課](#)

滋賀の農業に関するHP等



[しがの農林水産業](#)



[滋賀県農業・水産業基本計画](#)



[日本農業遺産 琵琶湖システム](#)



食のブランド推進室



Facebook [おいしがうれしが](#)



X [おいしがうれしが【公式】](#)



Instagram [おいしがうれしが【公式】](#)



HP [滋賀のおいしいコレクション](#)

Youtube [おいしがうれしが【滋賀県公式】](#)



お問い合わせ：滋賀県農政水産部みらいの農業振興課地域農業戦略室

TEL：077-528-3847 E-mail：fukyuu@pref.shiga.lg.jp